



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

理事長職を拝命して

高柳一男



今回の総代会において理事長という大役を仰せつかり、日に日に責任の重大さを感じているところでございます。微力ながらこの大役をどうはたしていくべきか、私なりの思いを述べ、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

まずは建築板金業界ならびに組合員の皆様の発展を実現していくために何から具体的にやっていくかということだと思えます。それには、先輩諸兄が築いてこられた愛知県板金の委員会制度の充実がまず第一だと思えます。八つの委員会の活動が順調に行くよう露払いをしていくの

が私の役割だと思えます。各委員会の目標を明らかにし、実現可能な細かな目標を定めて委員会活動をしていくことが大切だと思います。

建設業界の動向として、品質と価格、そして自然環境に関する問題を考えずしては前に進むことが出来ません。これら一つひとつを考えた施策を委員会の中に取り入れて活動していくことが大切かと思えます。

委員会制度では委員長を原則として常務理事から選出し、各ブロックより2名程度の委員構成で約10名のメンバーにより活動しています。委員会の中で活発な意見交換では、時として時代の先端をゆく話も出てきます。この業界を少しでも良くしていくために組合員の皆さんのご意見をたくさん出していただきたいと思っています。そして

委員会の活動を活性化し組合員各位に何か役に立つものができるところを期待しています。

また、委員になられた方は県内の同業者が集う中、板金に関する情報交換等をしていただき、お互いに切磋琢磨する中、得た

常務理事会及び委員長会議

6月16日(火)、午後3時より組合事務所にて標記の会議が開かれ、正副理事長、常務理事及び委員長の13名が出席した。

高柳理事長が挨拶した後、常務理事と委員長に委嘱状が交付され議事に入った。

①平成21年度委員会構成について
まず、愛知県板金が設けている8委員会の今年度の担当役員と委員長及び副委員長の人選案が示され了承された。次に、委員会規約と内規、20年度の委員会名簿と開催状況そして21年度の各委員会の活動方針が説明された。これを基に各委員会の委員の人選を行った。しかし数名の委員についてはこの場で決められず、ブロック長に推薦を依頼する事となった。

また、委員会ではないが、技能検定員と青年部担当役員が発

案され了承された。

常任理事 高柳 一男

理事 平野 克彦

同 小野寺俊一

同 吉田 万作

同 高橋 銀吾

同 富本 育三

同 鈴木 準一

同 今井 文夫

同 宮下 善博

同 青木 久治

同 蟹江 重光

④登録建築板金基幹技能者特例講習会の進め方について

登録基幹技能者について、日板協は国土交通省へ登録基幹技能者講習事務の登録申請を行い、平成21年3月10日付けで国土交通大臣より正式に認可された。また、「特例講習会」についても、正式に開催することが認められた。これにより愛知県板金では、前述の担当部会によって具体的な実施要領が作られ、受講対象者に案内される事となった。

⑤今後の行事予定について
主な行事として次の報告がされた。

- 7月12日(日) 技能検定実技試験
- 7月17日(金) 理事会予定

以上で会議を閉じた。

退任のご挨拶 齋藤充昭



組合員の皆様には時下益々ご清栄のこと

と心からお慶び申し上げます。

この度、五月二十一日に開催されました第四十四回通常総代会に於きまして理事長職を退任致しました。三期六年に渉る役職在任中は組合員の皆様はじめ関連団体各位の心温まるご支援ご協力をいただき無事に任期を終える事が出来ました。また愛知県中小企業団体中央会の副会長職も任期満了に伴い退任致しました。関係各位には長年格別のご厚情に深く感謝申し上げます。

思い返せば平野元理事長の下で十年、村上前理事長に請われて六年そして思いもよらなかった理事長を六年合わせて二十二年の月日が経ちました。特に理事長としての六年は小規模業者の多い板金業界の何処に目線を当てたらいいか、何が県板組合と組合員各位に活力をもたらすのかを考え続けて来ました。しかしいくら旗を振り回しても組合活動が進展しない事にジレン

人が出来て地元の皆様と共にこれが何物にも代え難い私の宝物になりました。

マも多々有りました。任期を終えた今、六年間何をして来たのか反省と共に何事にも力不足だった自分と自問自答をして居る昨今ですが、多くの人との出会いをはじめ楽しかったこと、感動したことなど走馬燈のように蘇ります。中でも全板愛知大会が一番の感激です。村上前理事長が誘致した一大事業を引き継ぎ組合員全員一致で叡智を出し合い取り組んだ大会には参加者四千五百人を越え、今も記録は破られて居ません。また愛知県板金が考え出した組合員総出の歓迎見送り風景は参加者に好感を持たれ毎年の大会でも定番になって居ます。

他にも県板創立四十周年と記念事業、県板青年部設立三十周年、全板連創立三十周年、中板協創立三十周年、全板会館完成式など他団体も含めて六年間に行われた数々の節目の行事に関わり不思議な巡り合わせを体験して来ました。地元のブロックや支部總會にもお招きを受け歓迎して戴き、皆さん一人一人の暖かいお心に触れる事も出来ました。また全国各地にも知人友

これからはこれまで年間百五十回を越す県板事業や他団体の会議等の出席から解放されて六年間凍結していた海外や国内の「世界遺産」の写真撮影と家業にも精を出したいと考えて居ます。先日は沖繩に出掛け七月は大河ドラマ「天地人」の上杉家と智将「直江兼続」ゆかりの地、山形県米沢市を訪れます。

日本一元気だった愛知名古屋が日本一不況の大波を受けている中で、景気の底打ちと言われ始めています。しかし板金業界には立ち直りの気配は当分見えません。愛知県板も一つの時代が終わり新たな体制に生まれ変わりました。高齢化、後継者不足など先行き不安定な部分もありますが、若い柔軟な知能と行動力で新しい組合事業を進めて戴きたいと考えます。何事も全員での取組み、建設的な議論で活性化を図って行かれる事を期待しております。

長い間ご支援を戴いた組合員の皆様、役職者各位、組合事業を支え続けて戴いた三人の事務局の皆さんに心からお礼を申し上げます。また退任のご挨拶と致します。

平成21・22年度

各種委員会名簿

Table with 5 columns: 経営研究員会, 技術研究委員会, 広報委員会, 総務委員会, 役員名. Lists members and their branches.

Table with 5 columns: IT部会, 技能士会, 技能委員会, 厨房空調委員会, 保証委員会. Lists members and their branches.

副理事長に就任して 小野寺俊

この度、副理事長として仕事をさせて頂くことになりました。これは、大変光栄に存じますとともに、責任の重さに身が締まる思いであります。

これまで齋藤前理事長のご努力と指導のもと、多くの組合員

の力で組合は順調に発展してきていることを確信し、深く感謝いたしております。これからは、高柳新理事長のもと、組合をさらに充実発展させる時期ととらえて邁進して参りたいと思います。

今まさに板金業界では非常に厳しい状況が続いており、組合を改革していかなければならぬ

い時であると感じております。このためには組合員の皆様一人一人の専門技術を組合事業で十分發揮していただき、皆様と力を合わせこの不況を乗り切つて参りたいと考えております。

さらに私自身微力ではありませんが、高柳新理事長のもと一団感のある組合作り、社会的地位の向上を目指していく所存であります。組合員皆様のご協力を頂き、重責を果たしたいと考えておりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛知県板金総合職業訓練協会 第31回通常総会開催

愛板協会の総会が6月7日(日)午後3時より名鉄ニューグランドホテルにて行われた。

当日は晴れて初夏を思わせる陽気であった。神谷昇理事の司会、猪子副会長の開会の辞により始められた。まず長谷川会長が挨拶に立ち、

「協会としては31年ですが板金訓練校としては56年になります。

今年の入校生は4人ですが、今後も継続して行きたいので、ご協力のほどよろしくお願ひします。又、愛知県、名古屋、板工業組合にご協力いただきます」と進めて行きたいと思ひます」と

述べた。

議長選出に移り、会場の議長一任の発言により浅井裕一常務理事が議長に選出された。

第一号議案

平成20年度事業報告

平成20年度各種収支決算報告

資産一覽表、会計監査報告

第二号議案

平成21年度事業計画案

平成21年度収支予算案が承認された。

第三号議案

役員改選の件では、長谷川信俊氏が再任された。

新会長挨拶、新役員指名発表

入会者紹介、退任役員への感謝

挨拶が行われた。

来賓紹介の後、来賓祝辞に移

り、愛知県職業能力開発協会古

田和豊専務理事は「社員に知恵

を出せと言ってもいい案は出な



▲ あいさつをする長谷川会長

い、社長は方向性を示し社員に勉強をさせる、そうしなければいい知恵は出てこない」と述べた。

次に祝辞を述べた愛知県板金工業組合高柳一男理事長は「今職業訓練校では、生徒がいなくて休校する職種が増えている。若い人に物作りの心を教え、仕事に対する生きがいを見つけ、入って来た人を止めさせないように入ることが大事。技能検定試験では、勘違いや甘く見て失敗する人がいるが、すべて又試験を受けるその時若者は育つ。お互い頑張つて訓練校の発展を目指したい」と述べた。その後、井藤訓練校長の閉会の辞により、総会を終了した。

次に平野弘元愛知県板金工業組合理事長の講演があり、次の様に語られた。

15歳で三菱航空機に養成工と



▲ 歓談中の平野弘氏 (中央)

して入り、技術部設計課に所属し、終戦後板金屋を始めた。

- ① 徒弟制度——養成訓練
- ② 歴史は繰り返す伊勢湾台風から50年、復興に尽くしたのは板金業界であった。板金材料問屋にビルが建つたのもこの頃
- ③ 身体に覚える座右の銘 偶成・(朱熹)、論語・(孔子)
- ④ 継続は力なり 待つ心、聞く心
- ⑤ 本気

本気ですれば大抵の事はできる本気ですれば何でも面白い本気でしていれば誰かが助けしてくれる等等

久しぶりに聞く平野さんの講演は、声も大きく張りがありまだまだ若いと思ひました。その後、部屋を改め懇親会に移り、多数の友人との再会を喜び、楽しく歓談した。

章太郎 (緑支部)

県板事務局

夏期休暇のお知らせ

日頃は、組合事業にご協力を賜り有難うございます。県板事務局は、8月12日(水)から8月17日(月)までお休みさせていただきます。

西三板金連合会 高所作業と感電防止の特別教育を実施

西三河地域にはトヨタ関連の大企業が数多く有るが、その殆どの建設現場で就業するには、労働安全衛生法などの法律で定められた資格以外に、全豊田が独自に定めた教育を修了しなればならない。その中で高所作業と感電防止の特別教育は全作業員に必須の資格である。

当連合会では今年度も事業計画の一つに安全講習を掲げており、今回はその一環として標記の特別教育を次の様に実施した。
6月7日(日)、午前9時から午後5時まで、刈谷市民会館にて



▲ 受講風景

鈴木工務店の細田氏。午後は高所作業で、講師は竹中工務店の佐藤氏。いずれも講義の後、理解度をチェックするためテストが行われた。受講料はテキスト代を含め4千円。

高橋(碧南支部)

開催し、会員19名が受講した。午前中は感電防止で、講師は

朝8時30分の集合時には、地元の有志によって既に網入りが終わっており、トラクターの力を借りて網を引いている真つ最中。網が波打ち際に近づいて、いよいよ皆の出番。

「ヨイショ!、ヨイショ!」の掛け声と共に網を引いた。アジ・イワシ・コノシロなどの小魚に交じり、マダカやカマスなど高級魚も多く、大漁に大人も子供も大はしゃぎ。(一番の盛り上がりは1メートルを超えるサメであった。)

その後はあらかじめ用意した肉や焼きそばのバーベキューに加え、獲れたての魚で刺身やから揚げなど、1時頃まで大いに楽しんだ。

松浦(東三支部)

大漁に大喜び!

東三支部 地引網

5月24日(日)、豊橋の細谷海岸で家族親睦地引網大会を開催した。

地引網は過去、東三支部の恒例行事となっていたが、天候や潮の状況に左右される等の理由で見送られてきた。今回、久しぶりの開催とあって、組合員・家族あわせて百五十人以上が集まった。



▲ 大漁です!!

地引網は過去、東三支部の恒例行事となっていたが、天候や潮の状況に左右される等の理由で見送られてきた。今回、久しぶりの開催とあって、組合員・家族あわせて百五十人以上が集まった。

6月各支部の動き

- 名古屋板金連合会 12日 支部長会 11名
- 21年度事業計画について
- ・ 県板委員会委員について
- 千種支部 14日 懇親会 5名
- 東北支部 12日 定例会 5名
- 昭和支部 8日 常会 12名
- 瑞穂支部 1日 定例会 16名
- ・ 県板他各種報告
- 中川・港支部 25日 定例会 20名
- ・ 支部長会の報告、他

編集後記

6月19日(金)に愛知県建設業労働災害防止大会なるものが開かれ、私は初めて参加した。主催は建設業労働災害防止協会愛知県支部(防災防)で、毎年この時期に開催されているらしい。愛知県板もこの団体に加入しており、チケットが10枚割り当てられたとの事。

会場は愛知芸術文化センターの大ホール。素晴らしい会場だ。入った瞬間、建設業界の大会にしては場違いな感じがした。しかし、大会自体の前に管楽器のコンサート、後に荻野アンナ女史の講演があったので納得。

そのアンナさん、ピンク系のTシャツとパンツスタイルでさつそうと登場。長身でナカナカのスタイル。私の席が二階後部だったのでルックスはハッキリしない。声と話の内容から五十代と想像。彼女の胸元の何が照明に反射しチカチカ。その部分が気になり、目を細めたりメガネをずらしたり。

偶然今朝の中日新聞に彼女のエッセイが顔写真真入で掲載されており、「なーんだ、テレビで見たことあるじゃん」。

この大会の案内書を常務理事会当日にいただき、気になっていたことがある。それは閉会の言葉を述べる大滝氏。ヒョットして高校のとき同じクラスになったことのある彼ではないだろうか。十年ほど前、同窓会で話をしたら、某大手ゼネコンに勤めているとの由。

大滝氏は建設業者らしいユニフォーム姿で登壇。私と同様、前頭部がかなり後退しているのが遠くからでも分かる。歩き方と顔の輪郭が昔の彼に似ている声を聞いたら正に大滝君であった。

六月二十四日(水) 雨のち晴れ
四五〇号 編集会議
広報委員 八名出席
午後二時半開会 五時閉会